

PSS REPORT 2018

第33期 事業報告書

2017年7月1日 ▶ 2018年6月30日



証券コード：7707

▶ トップメッセージ

TOP MESSAGE

株主の皆様におかれましては、平素より当社の事業につきまして格別のご支援とご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。PSSの事業進捗についてご報告させていただきます。



プレジジョン・システム・サイエンス株式会社
代表取締役社長

田島 秀二

■ 事業の成長による社会貢献とは？

バイオ（遺伝子・タンパク質等）診断システムの提供を通じて

事業目的は、使い勝手の良い（ユーザーフレンドリーな）バイオ診断システムの提供を通じて、その診断情報を有効活用することにより、世の中の多くの人々に快適な生活を送って頂くことです。そのため事業領域における強みとして「自動化システム技術」を活かすこと、すなわち「バイオテクノロジー」と日本企業の得意とする「ものづくり」を融合して、事業の成長による社会貢献をはたします。

PSSの技術コンセプトは、「シンプル、コンパクト、メンテナンスフリー」の自動化システムです。このコンセプトが、社会に受け入れられたDNA自動抽出装置は、累計2万5千台を世界的な企業を通じてOEM供給しました。現在では研究分野だけではなく、感染症やDNA鑑定等の臨床の現場でも利用されるようになりました。

今後PSSが事業の成長により社会貢献できるのは、この実績と経験を活かした応用展開です。すなわちDNA自動抽出技術（Magtration®）を発展させたバイオ診断システム（全自動化装置と一体化した検査試薬）の製品提供を通じて、世界のより多くの人々に、バイオ診断情報の有効活用による社会貢献に関わることだと考えています。

■ 業績について

第33期（2018/6期）連結業績について ⇒参照 連結財務ハイライト

対前期比では売上は減収となるも損失幅は改善しました。その要因としては、OEM供給製品である全自動遺伝子検査装置と自社販売については好調に推移したものの一部の既存OEM販売先に対する販売が低調であったことから、全体としては前期比で減収となりました。一方で費用面においては、研究開発費を含めた費用削減努力に積極的に取り組んだことにより、減収分を補えたことから前期比より損失幅は改善しました。

PSSの提案する診断システム

- 全自動遺伝子診断装置
geneLEADⅧ



■ 中期事業計画の進捗について

遺伝子診断市場のトレンドを捉え事業フィールドを研究開発分野から臨床診断分野へ移行し、製品構成は装置中心から試薬・消耗品ビジネスへの転換を掲げ、3か年の中期事業計画を策定しており、その事業進捗に鑑みて、毎年見直しを実施しています。

中期事業計画の方針としては、1.既存OEM取引の深耕及び新規OEM契約の獲得、2.自社製品のラインアップの充実と販売強化、3.試薬ビジネスをはじめとする製品コストダウンによる利益率の向上を掲げ、売上拡大と利益確保を定めており、これらの進捗状況については、

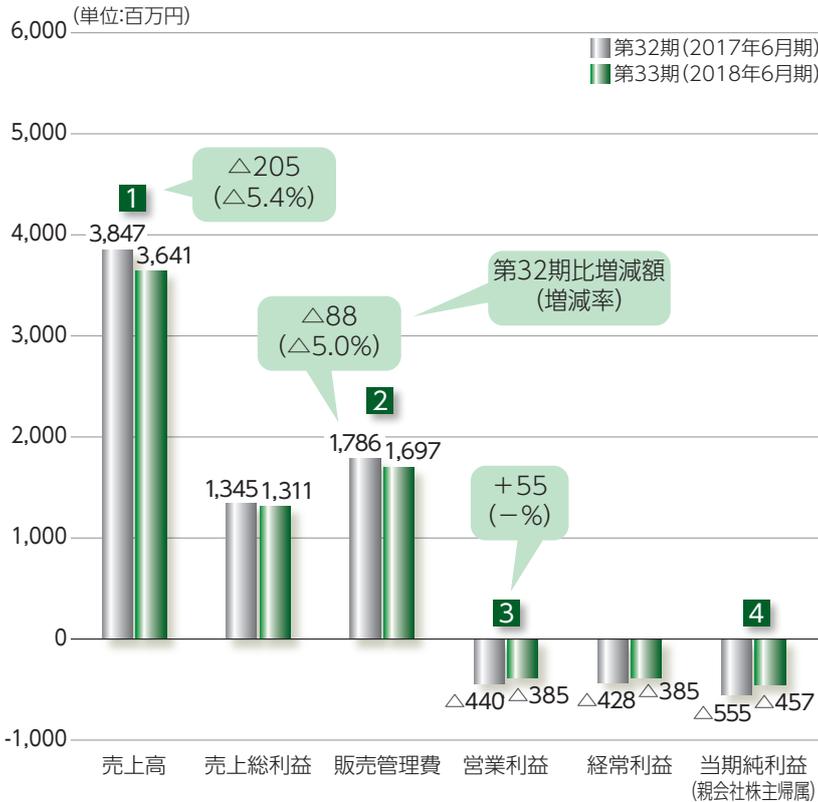
- ① ELITech向けに、OEM供給を行っている全自動遺伝子検査装置（プレパック抽出試薬を含む）について、新たな製品開発とOEM供給契約の基本合意締結に至り、今後製品開発を行う予定です。
- ② 小型の全自動遺伝子検査装置（リアルタイムPCR検査装置）、geneLEADⅧの販売を開始する予定です。当初は、欧州規格CE-IVDに対応をしたPCR試薬を随時製品化し、フランス・ポルトガル・スペイン・ベネルクス（ベルギー、オランダ、ルクセンブルク）での販売を行う予定となっています。
- ③ 上記①②の進展により今後は試薬及び消耗品の販売拡大が予想される事から、PSSの大館試薬センターでは自動化設備投資等によるコストダウン対応が要求され今後の課題となっています。

第34期（2019/6期）においてはこれらの施策を厳格に進める事により、株主・投資家の皆様の期待に応える成果を着実にみせられるよう事業を推進してまいります。

引き続きご支援のほど何卒宜しくお願い申し上げます。

第33期(2018/6期)連結業績

- 連結業績は、前期比減収となりましたが、費用削減努力により赤字幅は前期比改善されました。
- 特別利益及び特別損失を計上しました。

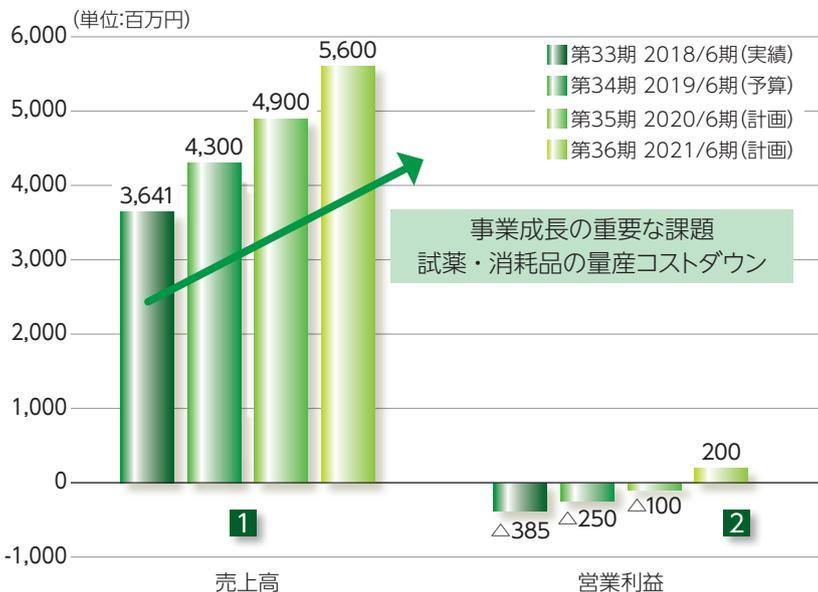


◆第32期(2017/6期)業績比

- ▶売上高の減収
エリテック社向けOEM製品である全自動遺伝子検査装置の販売や、自社販売については好調に推移しましたが、一部既存OEM販売先に対する販売が低調となったことによるものです。
- ▶販管費は前期比削減
研究開発費568百万円(前期比12.2%減)と減少したほか、その他費用の削減にも努めたことによるものです。
- ▶赤字幅の改善
減収を上回る費用削減努力によるものです。
- ▶特別利益と特別損失の計上
特別利益として取引先との契約に基づく受取補償金42百万円を計上、特別損失として固定資産の減損損失96百万円を計上しました。

中期事業計画(2019年6月期~2021年6月期)について

- 当社グループでは、遺伝子診断市場のトレンドを捉え、事業フィールドを研究開発分野から臨床診断分野へ移行するとともに、製品構成は装置中心から試薬・消耗品ビジネスへの事業転換を掲げています。特に試薬及び消耗品の販売拡大が予想されることから、PSSの大館試薬センターにおける自動化設備投資等によるコストダウン対応が要求されており、事業の成長のための今後の重要な課題となっています。
- 販売拡大と製品コストダウン等の業績改善を継続的に行っている一方で、当社グループにとって開発活動は、バイオベンチャーとして事業を拡大していくためには必須のものであり、また今後さらに自社販売を拡大していく中では体制構築のための追加投資も要するものと考えており、投資と収益とのバランスを考慮していくことで、早期営業黒字化の実現を目指します。(為替レートは、1ドル=110円、1ユーロ=130円を前提とします。)



◆中期事業計画の見込み

- ▶取引先別売上推移
自社販売の増加基調分を見込んでいます。
- ▶製品別売上推移
全自動遺伝子検査装置と試薬・消耗品の増加基調分を見込んでいます。
- ▶営業利益
継続的な業績改善努力により2021/6期には業績黒字化を見込んでいます。

更に詳しい情報は？

PSSWebサイトより

●中期事業計画策定のお知らせ
(2018年8月27日)

■ 自社製品のラインアップの充実と販売強化 「全自動遺伝子検査装置「geneLEAD Ⅷ」の発売に関するお知らせ」 (2018年7月13日)

geneLEAD Ⅷの発売概要

1. 製品概要

- ・ 中型の全自動遺伝子検査装置geneLEAD XII plusに続くgeneLEADシリーズ製品です。本製品の特長は小型でプレパック方式の試薬セッティングとボタン操作により約90分で核酸抽出からリアルタイムPCR解析までが可能な点（反応時間はPCR試薬により異なります。）にあります。
- ・ 遺伝子検査が実施できなかった中小規模の病院でも遺伝子検査が可能になるだけでなく、PSSの核酸抽出試薬「MagDEA Dx SV」と新たに開発したPCR（検査）試薬との組み合わせで様々な検体種に対応し、PSSのオリジナル自動化測定技術によりコスト、精度を含め極めて競争力の高い遺伝子検査の実現が期待できる全自動化装置となっています。



2. 製品販売概要

当初は、欧州規格CE-IVDに対応したPCR試薬を随時製品化し、フランス・ポルトガル・スペイン・ベネルクス（ベルギー、オランダ、ルクセンブルク）での販売を行う予定となっています。

3. 今後の展開

アジア、ワールドワイドに販売展開を拡大していく方針です。そのためには、臨床検査項目の品揃えと各国との臨床規格準拠が重要です。geneLEAD Ⅷは、そのいずれにも適合し易い技術、方法で将来の遺伝子検査の概念を変えていく可能性があり、将来的には、バクテリア、ウイルス、感染症、ガン遺伝子変異、体質測定等の分野での活用をすすめていきます。

■ 既存OEM取引の深耕及び新規OEM契約の獲得

「ELITech向けOEM供給製品の新たな製品開発とOEM供給契約の基本合意締結のお知らせ」 (2018年8月8日)

基本合意締結の内容

1. 基本合意締結

ELITech向けに、OEM供給を行っている全自動遺伝子検査装置（プレパック抽出試薬を含む）について、新たな製品開発とOEM供給契約の基本合意締結

2. ELITech向けOEM供給製品の販売実績

ELITech向けのOEM供給製品である中型の全自動遺伝子検査装置「geneLEAD XII plus」は、ELITech向けにカスタマイズして「ELite InGenius」として販売されています。当製品は、臓器移植における病原体のモニタリングや感染症検査等の医療の現場で利用されており、全自動化システムを活用したい医療現場の要望に応えた製品として多くの引き合いを受けていることから、順調な販売拡大実績の推移となっています。



プレパック抽出試薬は大館試薬センターで製造

3. 基本合意の背景

ELITechが医療検査の現場から受けている要望を、PSSの汎用性の高い自動化システム技術でとり纏めて実現するべく、現状OEM製品として販売しているELite InGeniusをベースにした新たな製品開発とOEM供給契約の基本合意に至りました。

商号：プレジジョン・システム・サイエンス株式会社
 (英文社名)：Precision System Science Co., Ltd.
 設立年月日：1985年7月17日
 役員：代表取締役社長 田島 秀二
 常務取締役 池田 秀雄
 取締役 古川 昭宏
 取締役* 團野 達郎
 取締役* 昇 佳之
 常勤監査役** 平山 伸之
 監査役** 荻原 大輔
 監査役** 山川 善之
 (注) *社外取締役 **社外監査役

連結子会社：Precision System Science USA, Inc. (米国)
 Precision System Science Europe GmbH (ドイツ)
 ユニバーサル・バイオ・リサーチ (株) (千葉県松戸市)
 エヌピーエス (株) (秋田県大館市)

事業内容：バイオ診断システムメーカー
 遺伝子・タンパク質解析関連業界における研究開発やその研究成果の実用化に用いられる自動化装置、その他理化学機器、ソフトウェア等の開発及び製造販売ならびに自動化装置に使用される試薬及びプラスチック消耗品の製造販売等。

資本金：3,401百万円
 従業員数：171名
 (注) 従業員数は就業人員です。(派遣社員、パート等含まない。)

株式の状況

発行可能株式総数 68,480,000株
 発行済株式の総数 23,066,900株
 株主数 10,125名
 大株主 (2018/6末現在)

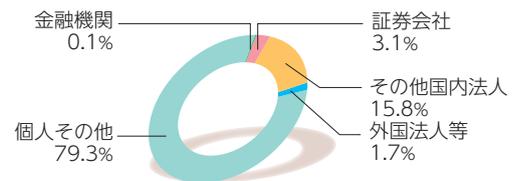
株主名	持株数 (株)	持株比率 (%)
田島 秀二	4,549,200	19.7
(株) 日立ハイテクノロジーズ	2,310,000	10.0
有限会社ユニテック	1,200,000	5.2
高橋 計行	288,400	1.3
傳 孝広	231,000	1.0
高山 茂	215,400	0.9
野村證券 (株)	135,600	0.6
プレジジョン・システム・サイエンス従業員持株会	106,900	0.5
BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG (FE-AC)	97,300	0.4
大和証券 (株)	86,700	0.4
(株) SBI証券	86,700	0.4
井上 功	86,700	0.4

STOCK INFORMATION

株主数推移 (名)



所有者別保有株式数



株主メモ

事業年度 毎年7月1日から翌年6月30日まで
 剰余金の配当基準日 期末配当金 毎年 6 月30日
 中間配当金 毎年12月31日
 定時株主総会 毎年9月
 単元株式数 100株
 株主名簿管理人 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
 公告方法 電子公告 (<http://www.pss.co.jp>)
 ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載します。

SHAREHOLDER INFORMATION

お取扱窓口 証券会社等に口座をお持ちの場合、住所変更や買取請求等株主様の各種お手続きは、原則として口座を開設されている証券会社等経由で行っていただくこととなりますので、ご利用の証券会社等へご連絡をお願いいたします。
 証券会社等に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)、下記のお取扱店にてお取次いたします。
 なお、支払明細の発行に関するお手続きにつきましては、みずほ信託銀行の下記連絡先にお問合せください。
 お問合せ先 〒168-8507
 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
 フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く
 9:00~17:00)
 お取扱店 みずほ証券
 本店、全国各支店
 プラネットフース (みずほ銀行内の店舗) でもお取扱いいたします。
 みずほ信託銀行
 本店および全国各支店
 ※トラストラウンジではお取扱できませんのでご了承ください。
 未払配当金の
 お支払い みずほ信託銀行 本店および全国各支店
 みずほ銀行 本店および全国各支店
 (みずほ証券では取次のみとなります。)

PSS IRメール配信のご案内

PSSでは、個人株主・投資家の皆様とのコミュニケーションをはかるため、Eメール配信を行っております。プレスリリースや会社説明会のご案内等を、オンタイムでお知らせしております。
 PSSWebサイト>企業情報・IR>PSSIRクラブからメールアドレス登録ができますので、是非ご登録ください。

(将来の見通しに関する注意事項)

本事業報告書では、当社グループの将来についての計画・戦略・業績に関する予測と見通しが含まれています。実際の業績は、述べられている見通しと異なる可能性があることをご承知おさください。

